

# 夢実現までの道のり

2017年10月



▲小学生時代の3人。この時すでに日本代表チームになる運命に導かれていたのかもしれない。

2022年8月



▲南九州予選を1位通過し、臨んだWRO 2022Japan決勝大会in浜松。約半年間費やしてきた全ての力を出し切りました。



▲表彰状やメダルを手にする3人。ついに日本代表を手にし、夢の舞台へ羽ばたきます。

2022年9月



▲2022WROドイツ国際大会日本代表を中村市長に報告。

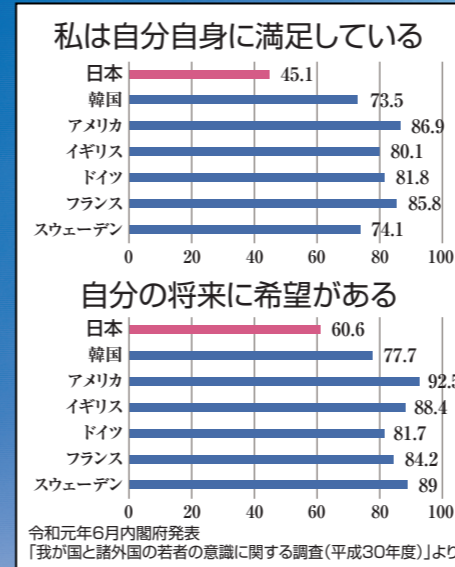
# 若者の夢・探究

「見つけようオンリーワンの自分」

「探究」とは、物事の真の姿をさぐって見極めること(広辞苑より)。

今年4月から全国の高等学校で「総合的な探究の時間」が設けられました。これは、主体的に設定した課題を自分たちで解決する能力を養うことや、実社会で活用できる知識や技能を習得することを目的に、自分で決めたテーマに沿った活動に取り組むものです。令和元年度に内閣府が発表した「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」(左図)によると、自分自身に満足している」と答えた日本の若者(13〜29歳)は45.1%で、諸外国の中で最も低く、特に10代後半から低くなる傾向があると報告されています。

進学や就職など10代には多くの「選択」が訪れますが、答えは一つではありません。将来自分らしい選択ができるように、今回は好きなこと・やりたいことを、深く究める「高校生や市内高校で取り組まれている活動」を紹介します。

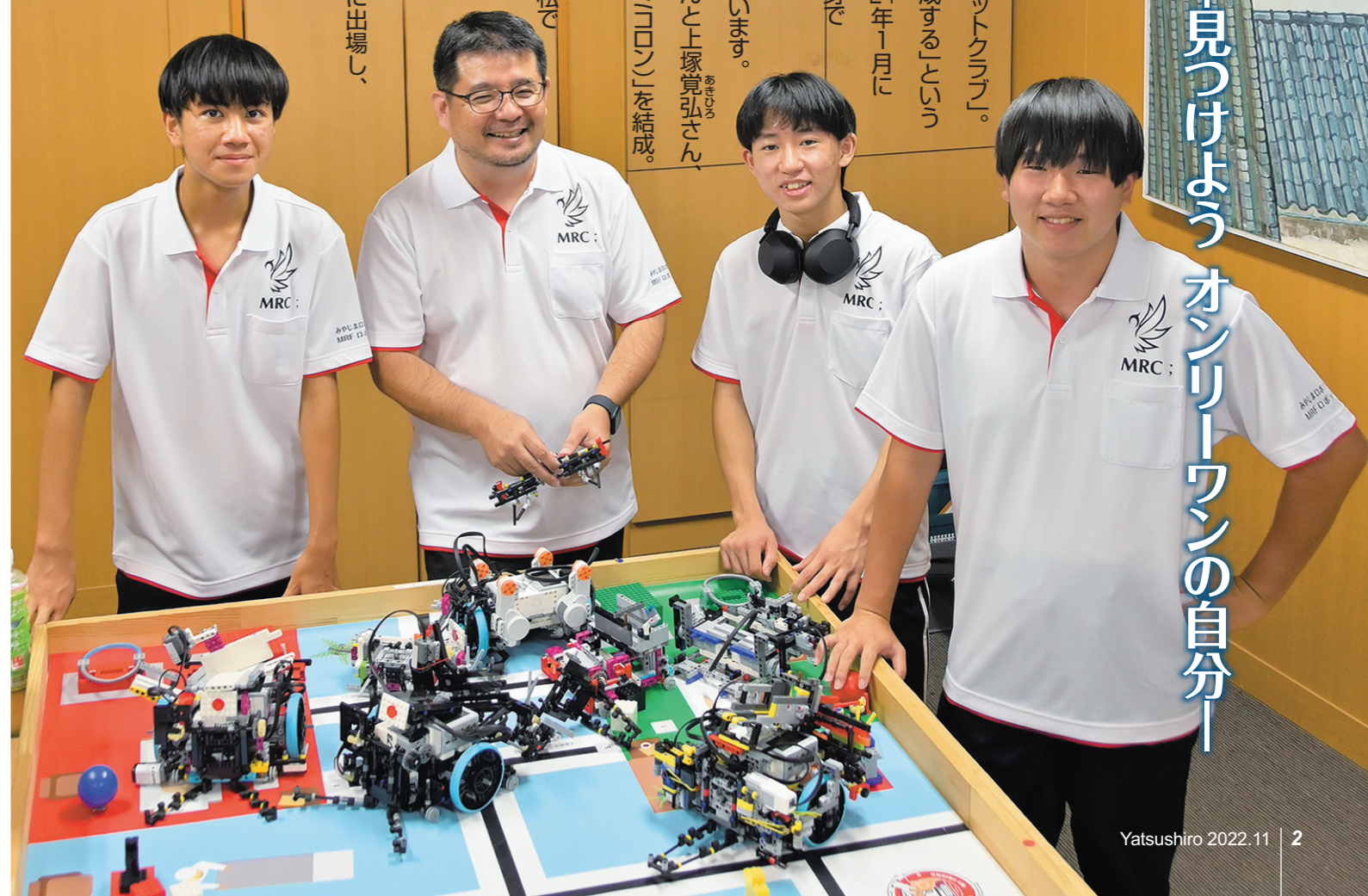


## 八代から世界へ みやじまロボットクラブ

八代市松江本町にある「みやじまロボットクラブ」。同クラブは「世界で活躍する人材を育成する」という宮嶋利治学術財団の理念のもと、平成24年1月に設立されました。最新の技術や自分自身で考える力を教育する場所として、小学4年生から高校3年生まで所属しています。

今年、同クラブに所属する泉徳浩さんと上塚覚弘さん、田代汀さんがチーム「チームMRC」(セミ「ロン」)を結成。ロボットのプログラミング技術を競うWRO2022 Japan 決勝大会in浜松で準優勝に輝き、11月にドイツで開催される国際大会の日本代表チームに選出されました。

3人は小学生の頃からロボット競技に出場し、日本代表まであと一歩という悔しさを何度も経験してきました。それでも懸命に競技に取り組み続け、ついに夢を叶えた3人にロボット作りの楽しさや将来の夢について聞きました。



上塚 覚弘 さん  
(八代清流高校2年)

泉さんと上塚さんは、小学4年生から同クラブに所属しています。田代さんは、宮崎県宮崎市在住で、地元チームが休止になり、同クラブにスカウトされ、父親の送迎で週に1度同クラブに通っています。

小学生の時から顔見知りの3人。ライブでありながらもその実力を認め合っていた3人だからこそ、チームとして強くなれたと言います。

Q ロボットに興味を持ったきっかけは?

泉 ……とにかくモノを作ることが好きで、ロボットクラブがあることを知ってずっと憧れていました。

上塚…友達に誘われて入ったのがきっかけです。小学5年生の時に出た大会で上位入賞してから面白くなりました。



泉 徳浩 さん  
(八代高校2年)

好きなことから楽しんでいる

田代…小さい時はレゴで遊ぶのが好きで、小学1年生からロボットを作り始めました。



田代 汀 さん  
(宮崎南高校1年)

Q チーム内の役割は?

泉 ……ロボットの組み立てを担当しています。土台のバランスや細かい部品の調整など、大会期間中に合計14機のロボットを作りました。

上塚…ロボットを動かすためのプログラム作成を担当しています。大会ではミリ単位の誤差で負けることもあるので、隣時に調整できるようにプログラム構成を頭に入れていきます。

泉 田代…あつくん(上塚さん)は、集中力があります。チームの精神的支柱です。

田代…地元宮崎のチームでは、組み立てもプログラム作成もしていたので、このチームではサブとしてサポートしています。ロボットは気温や湿度に影響されるので、2人が考えたロボットを宮崎の練習場で動かしてみても結果をフィードバックします。

## 指導者の声 講師 吉田 秀人 さん

試合中、大人は見守ることしかできないので、普段もあえて口を出さず自分たちで考える時間を持たせています。

「チームMRC」はチームとして連携していますが、基本は個人の努力があってこそ。一人一人が主人公になれるように支えることを大切にしています。



# 市内の高校、高等専門学校、高等支援学校で行われている“オンリーワン”な探究活動や取組を紹介します。

※掲載を希望された高校、高等専門学校、高等支援学校について紹介しています。



## 熊本市立八代高等学校

### 総合的な探究の時間

～社会に一石を投じる活動を実践せよ～

里親家庭のことを多くの人に知ってもらうためにできることから取り組んでいます。

子どもの未来 やました みさ  
創造チーム 1年 山下 美紗さん



#### ●目的

SDGsの視点をもって、自分たちが地域課題を見出し、解決策を考え、行動・実践する力を育むことで、故郷を大切に思う人材育成を目指しています。

#### ●主な取組

- ・八代城の歴史ガイド
- ・里親家庭の支援
- ・水の大切さを学ぶ小学生向け出張講座 など



▲優里の会と一緒に里親制度の啓発

## 熊本市立八代清流高等学校

### 総合的な探究の時間

～プロメプラン～

チームでアイデアを出し合い、アメリカザリガニせんべいの商品化実現に向けて頑張ります。

ビジネス探究ゼミ まつむら けん  
1年 松村 賢さん



#### ●目的

地域課題を発見し、地域社会に参画する活動をおとして、解決に対応する力を育み、地域に貢献する人材育成を目指しています。

#### ●主な取組

- ・八代市特別講話「八代地域の現状と課題」
- ・1年次調べ学習成果発表会
- ・やつしろ未来創造塾生による取組発表



▲アメリカザリガニせんべい開発チーム

## 熊本市立八代東高等学校

### 総合的な探究の時間

～ビジネスの力で農家を幸せにしたい～

食品ロスは身近な問題です。まずは食べ残しを減らすことから始めましょう。

まつおか みずき  
商業科 3年 松岡 瑞姫さん



#### ●目的

この研究では、商業に関する課題解決に必要な知識と技術を深め、地域と共同で活動しながら自発的、創造的な学習に取り組んでいます。

#### ●主な取組

- ・地元農家やJA、企業と共同で食品ロス防止のための調査研究
- ・規格外野菜を用いた商品開発
- ・生徒商業研究発表大会(熊本県大会)で特別賞を受賞 など



▲廃棄野菜を有効活用した加工品づくり

## 熊本市立八代工業高等学校

### マイスター・ハイスクール事業

～くまもとからはじまる産業人材育成エコシステム～

学校にはない工具や材料を使ったり、専門家と直接話したりできるのが魅力的です。

えばら あきほ  
電気科 3年 江原 空歩さん



#### ●目的

文部科学省の指定を受け、DX社会を見据えた人材育成を目指し、産学官一体となって最新デジタル技術の習得と創造的思考力の育成に取り組んでいます。

#### ●主な取組

- ・各専門分野の産業実務家教員からデジタル技術を習得
- ・県内企業の現役技術者による年間460時間の授業
- ・22社の県内企業で専門的企業実習 など



▲西部電設(株)とデジタル技術研修

## 熊本県立八代農業高等学校

### スマート農業の普及に向けた取組

～水管理システムの導入と地域のモデル校を目指して～

最先端技術で農家の負担軽減や若い人が農業に参入しやすい環境を作りたいです。

うえだ ともき  
農業工学科 2年 上田 智貴さん



#### ●目的

農業就業者数の減少や耕作放棄地などの課題解決につなげるため、将来にわたるスマート農業の普及を目指した活動を行っています。

#### ●主な取組

- ・自動給水装置やドローンによる生育予測
- ・地域農家や市、県との情報交換 など



▲田んぼの給水の仕組みを現地視察

## 熊本県立八代農業高等学校泉分校

### 総合的な探究の時間

～総合探究横連携「分校交流」～

小規模高校では、一人一人が役割を把握し、自ら動く姿勢が身につきます。

グリーンライフ科 つえさき あきと  
1年 杖先 亜殺人さん



#### ●目的

進路実現を最終的な目標に据え、少人数の強みを生かし「自分」「学校」「地域」を考えます。1学期は自分についてとことん向き合い、2学期は多様な交流を経験し地域について学びを深めています。

#### ●主な取組

- ・自己課題設定学習「ちよこプロ」
- ・学校&地域紹介to地域・世代が違う人(継続中)
  - ◆大阪市立敷津小学校との交流
  - ◆人吉高校 五木分校との交流



▲人吉高校五木分校とのオンライン交流

## 八代白百合学園高等学校

### 総合的な探究の時間

～SDGsについて学ぼう～

SDGsに関する身近な問題解決に向けて、工夫をこらした活動に取り組んでいます。

チームSDGs わたなべ ひな  
2年 渡辺 陽南さん



#### ●目的

日本や世界での出来事に目を向け、問題を自分事として捉え行動する力を育むため、弱い立場の人々に寄り添う心を大切にしながら学んでいます。

#### ●主な取組

- ・難民の子どもに服を届けるプロジェクトへの参加
- ・校内の節電を呼びかけるステッカーの作成 など



▲手作りで節電ステッカーを作成しました

## 熊本高等専門学校 八代キャンパス

### リベラルアーツ実践Ⅲ

～デザイン思考による地域協働・社会貢献～

企業の人と一緒に製品を作る過程を経験できるので、卒業後の進路にも活かれます。

機械知能システム なかの はると  
工学科 4年 中野 陽斗さん



#### ●目的

価値創造型エンジニアの育成を目指し、技術的思考力やユーザー視点の他、協調性など人間力の涵養も育みながら、実践をおとしてデザイン思考のプロセスを習得します。

#### ●主な取組

- ・問題解決に向けたグループ活動
- ・地元企業や協同組合とのコラボプロジェクト



▲ヤマハ熊本プロダクツ(株)との試作検証

## 熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校

### 総合的な探究の時間

～サイエンスグループ～

みんなと一緒に楽しく活動しています。自分で実験して初めて気づくこともあるので面白いです。

普通科 サイエンスグループ まつだ ゆうた  
3年 松田 佑太さん



#### ●目的

生徒自身が持つ興味・関心の幅を広げ、将来の余暇活動につなげています。

#### ●主な取組

- ・生涯スポーツグループ
- ・ミュージックグループ
- ・サイエンスグループ など



▲風船でロケットが発射する仕組みを習得